



現在急ピッチに工事が進む伊豆ベロドローム（仮称）

シクリスムエコー No.177 2011年2月号



伊豆ベロドローム（仮称）建築現場 2

2011年度大会予定 3

'10-'11UCIトラックワールドカップ・クラシクス#2 4

'10-'11UCIトラックワールドカップ・クラシクス#3 5

アンチ・ドーピング諸規則に関する改訂点のお知らせ 6

平成23、24年度役員改選に係る立候補者の受付について 7

ジュニア競技者に関する指導講座 8

各国際大会 日本代表選手団 10

国内自転車競技場の紹介（その11） 11

加盟団体だより（10） 11

訂正とお詫び 12

加盟団体事務局住所変更のお知らせ 12

学生神宮外苑クリテ 2月20日（日）開催! 12

日本新記録 12

連盟の動き 12



この広報誌は、競輪の補助金を受けて作成しました。

<http://ringring-keirin.jp>

国内初、屋内板張り250mトラックの工事現場に潜入!

静岡県伊豆市の日本サイクルスポーツセンター駐車場部分で、伊豆ベロドローム(仮称)の工事が進んでいる。

現在、ベロドロームの建物部分が清水建設によって建設中で、建物・空調などが完成したところで、ヨーロッパのトラック専門業者によって、走路部分の工事にかかる予定だ。

完成後は、自転車競技の普及、選手の育成・強化等に利用され、国内外の自転車大会も積極的に開催される予定。

竣工は本年の9月25日(予定)。



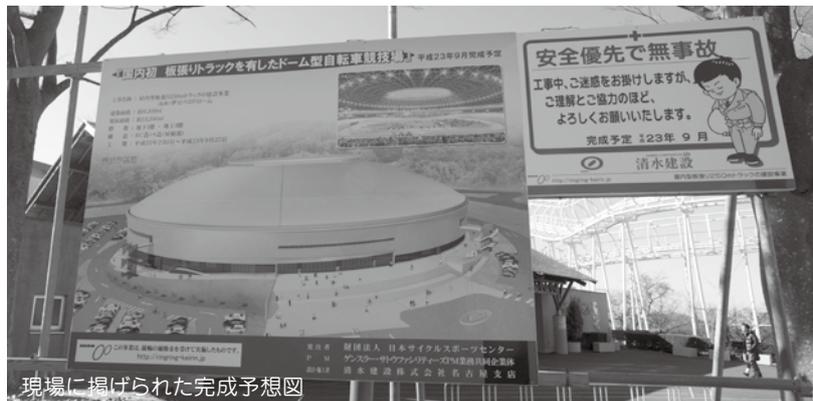
屋根のトラスも地上では巨大

屋根の工事が進む

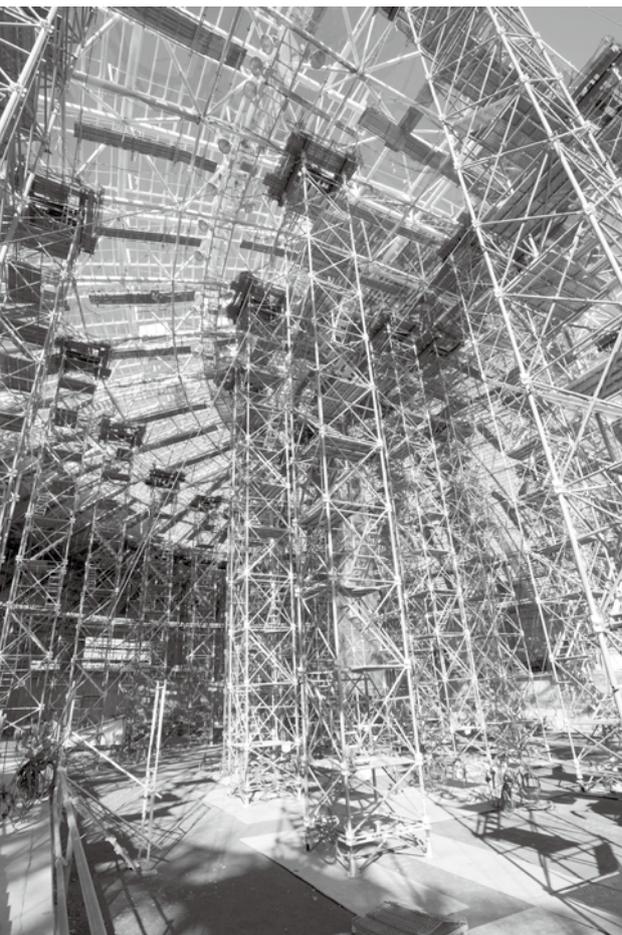


伊豆ベロドローム(仮称)建築現場

表紙写真の反対側。トラックインフィールドへの入口が見える



現場に掲げられた完成予想図



(仮称)伊豆ベロドローム メモリアルプレートについて (日本サイクルスポーツセンターより)

- 参加募集** 日本初の屋内型板張り 250m 自転車競技場 " (仮称) 伊豆ベロドローム " の誕生を記念して、皆さんの名前を刻んだメモリアルプレートにベロドローム内に設置。
- 募集期間** 2011年8月31日まで
- 募集個数** 10,000個限定(先着順)
- 受付** www.izuvelodrome.jp
- 参加費用** ¥5,000 / 1枚(税込み)
プレート代、加工代、運搬費、設置費用、事務局運営費などに充当
- 特典** サイクルスポーツセンターの入場券その他、特典あり。
- プレート** 約高さ 60mm 幅 500mm の金属製のプレートに掘り込み文字で、ID番号、地名、お名前がローマ字で刻まれます。
- 設置場所** 伊豆ベロドローム外周の壁の内側に設置されます。
- 見学** 完成以降サイクルスポーツセンターの営業時間中に見学できます。大規模な大会時など見学できない日もありますので、事前にご確認下さい。
- 所有権** 設置されたプレートの最終的な所有権はサイクルスポーツセンター・メモリアルプレート事務局に帰属します。
- 破損** 保障期間は10年間となります。経年変化の劣化について修復は行いませんが、不慮の事故などで破損が生じた場合は、修復及び復刻を行う場合もあります。
- お問合せ** メモリアルプレート事務局
TEL : 0558-79-0009 E-mail : info@izuvelodrome.jp

←内部の巨大な足場

2011年度大会予定

期 日	大 会 名	種 目	場 所
2011年			
4月03日	第36回チャレンジサイクルロードレース大会	RR	静 岡／日本CSC
24日	MTB八幡浜インターナショナル・クロスカントリー	MTB	愛 媛／八幡浜
5月上旬	第13回全日本学生選手権クリテリウム大会	RR	滋 賀／草 津
14日～15日	第52回全日本学生選手権自転車競技大会	TR	静 岡／日本CSC
15日～22日	第15回ツアー・オブ・ジャパン	RR	堺・奈良・美濃・南信州・富士山・伊豆・東京
16日	第58回全日本プロ選手権自転車競技大会トラックレース	TR	山 口／防 府
19日	第6回BMXアジア選手権大会	BMX	中 国／宿 遷
26日～29日	第13回TOUR de 熊野	RR	和歌山／熊 野他
28日～29日	第80回全日本アマチュア自転車競技選手権大会トラックレース	TR	東 京／立 川
28日～29日	2011年JOCジュニアオリンピックカップ自転車競技大会	TR	東 京／立 川
6月04日	第50回全日本学生選手権チームロードレース大会	RR	埼 玉／利根川上流域
05日	第23回全日本学生個人ロードタイムトライアル自転車競技大会	RR	埼 玉／利根川上流域
10日～12日	2011年MTBアジア選手権大会	MTB	中 国／蘇 州
12日	2011年全日本選手権個人タイムトライアル・ロードレース	RR	秋 田／大 湯
18日～19日	第27回全日本学生選手権個人ロードレース大会	RR	長 野／奥木曾湖
25日～26日	第16回ジュニア全日本選手権ロードレース	RR	岩 手／八幡平
25日～26日	第80回全日本アマチュア自転車競技選手権大会ロードレース	RR	岩 手／八幡平
25日～26日	第14回全日本自転車競技選手権大会ロードレース	RR	岩 手／八幡平
7月15日～17日	第24回全日本MTB選手権大会 XCO・DHI・4X	MTB	長 野／富士見
28日～31日	2011年BMX世界選手権大会	BMX	デンマーク／コペンハーゲン
8月09日～12日	平成23年度全国高等学校総合体育大会	TR・RR	秋 田／美 郷・田沢湖
12日～23日	第26回ユニバーシアード競技大会	TR・RR・MTB・BMX	中 国／深 圳
28日	第28回シマノ鈴鹿国際ロードレース大会	RR	三 重／鈴 鹿
31日～9/4	2011年MTB世界選手権大会	MTB	スイス／ジャンペリー
9月01日～04日	文部科学大臣杯第67回全日本大学対抗選手権自転車競技大会	TR・RR	長 野／松 本・大 町
02日～04日	第3回全日本ステージレース in いわて	RR	岩 手／八幡平
08日～10日	第46回全国都道府県対抗自転車競技大会	TR・RR	岐 阜／岐 阜・美 濃
中旬	第42回JBCF全日本トラックチャンピオンシップ	TR	大 阪
15日～19日	ツール・ド・北海道2011	RR	北海道／道 東～道 央
17日～19日	日本スポーツマスターズ2011自転車競技会	TR・RR	石 川／内 灘・津 幡
19日～25日	2011年ロード世界選手権自転車競技大会(エリート・U23・ジュニア)	RR	デンマーク／コペンハーゲン
24日～25日	第45回JBCF経済産業大臣旗ロードチャンピオンシップ	RR	静 岡／日本CSC
10月01日～02日	第43回全日本学生室内自転車競技選手権大会	ID	東 京／東京工業大学
05日～09日	第66回国民体育大会自転車競技会	TR・RR	山 口／防府・美祢・長門
14日～16日	第14回全日本自転車競技選手権大会トラックレース	TR	静 岡／日本CSC
22日～23日	2011ジャパンカップサイクルロードレース	RR	栃 木／宇都宮
30日	第7回全国ジュニア自転車競技大会	RR	三 重／四日市
30日	2011年全日本BMX選手権大会	BMX	広 島／安芸高田
11月上旬	第17回日韓対抗学生自転車競技大会	TR	大韓民国
03日	2011年全日本チーム対抗自転車競技大会	TR	静 岡／日本CSC
04日～06日	第75回世界室内自転車競技選手権鹿兒島大会	ID	鹿兒島／鹿兒島アリーナ
12日～13日	ツール・ド・おきなわ2011	RR	沖 縄／名 護他
20日	関西シクロクロス 野洲ラウンド (UCIクラス2)	CX	滋 賀／野 洲
27日	関西シクロクロス 野辺山高原ラウンド (UCIクラス2)	CX	長 野／南佐久
12月10日～11日	第42回全日本室内自転車競技選手権大会	ID	関西地区
11日	第17回全日本シクロクロス選手権大会	CX	未 定
2012年			
1月28日～29日	2012年シクロクロス世界選手権大会	CX	ベルギー／コクサイデ
3月下旬	平成23年度全国高等学校選抜自転車競技大会	TR・RR	福岡／北九州・熊本／山鹿

'10-'11UCIトラック・ワールドカップ・クラシクス#2



田畑が3kmの新記録を樹立!

オムニアム出場の田畑



2010年度のワールドカップ第2戦が、コロンビアのカリで行われた。シカゴとマイアミを經由して約24時間でカリに到着。しかし、荷物が到着していない。調べてみると、どうもマイアミで止められているらしい。仕方がなく選手団は荷物なしでホテルに移動。荷物が無事届いたのは、二日後の夕方だった。他のチームも荷物がおくられて届いたらしが、どうもマイアミに急に、たくさんの荷物が集まったので、税関が対応しきれなかったらしい。大会には、皆、間に合ったのでよかったが海外のレースのときは余裕のあるスケジュールを組まなくてはと、再認識させられた。

大会は、12月16日から18日の日程でおこなわれ、日本はトレードチームのC.C.T.とナショナルの2チームが参加。チームスプリントはC.C.T.チームが柴崎淳、渡邊一成、新田祐大、

3選手が出走。新田、柴崎は予選で敗退したが、北津留は予選を第5位で通過し、準決勝まで進出。3、4位決定戦で惜しくも敗れて、第4位だった。第1戦に次いで第4位は世界に通用するスプリンターということを実証した。ケイリンは、雨谷と、渡邊が出走。雨谷は予選、敗者復活戦でも敗退、渡邊は予選で敗れたが、敗者復活戦で勝ち上がり準決勝に進んだが、失格の判定で決勝に進むことができなかった。女子のオムニアムに出走した田畑は、自転車競技はまだまだ経験不足にも関わらず、予選を通過し、17位の成績だった。今後レースに慣れてくれば、もっと良い成績を残すだろう。ワールドカップ第2戦を終えて、まずまずの成績を残した日本だが、メダルを取るには、可能性の高い競技を強化し対策を考えなくてはと思っています。(監督 阿部 道)

【競技結果】

'10~'11UCIトラックワールドカップ 第2戦 (2010/12/16-18 コロンビア・カリ)

男子スプリント

- 1 SIREAU Kevin FRA
- 2 HOY Chris GBR
- 3 BAUGE Gregory FRA
- 4 北津留 翼 JPCA JPCU 福岡
新田 祐大 CCT JPCU 福島 予選敗退

男子ケイリン

- 1 AWANG Azizulhasni YSD
- 2 PERVIS François COF
- 3 SPICKA Denis CZE
- 24 雨谷 一樹 JPCA JPCU 栃木
渡邊 一成 CCT JPCU 福島 DSQ

男子4km

- 1 CLANCY Edward GBR 24
- 2 ARANGO CARVAJAL Juan Esteban COL 26
- 3 BELL Zachary CAN 37
脇本 雄太 JPCA JPCU 福井 予選敗退

男子チームスプリント

- 1 フランス FRA 43.539
- 2 イギリス GBR 43.830
- 3 ニュージーランド NZL 44.118
- 8 Cyclo Channel Tokyo 柴崎・渡邊・新田 45.545
- 12 日本 北津留・脇本・雨谷 45.856

女子スプリント

- 1 VOGEL Kristina GER
- 2 PENDLETON Victoria GBR
- 3 CLAIR Sandie FRA
- 24 前田佳代乃 鹿児島 鹿屋体育大 予選敗退

女子ケイリン

- 1 PENDLETON Victoria GBR
- 2 CLAIR Sandie FRA
- 3 CUEFF Virginie FRA
- 19 前田佳代乃 鹿児島 鹿屋体育大 1回戦敗退

女子4km

- 1 HAMMER Sarah OUC 15p
- 2 WHITTEN Tara CAN 30p
- 3 SHARAKOVA Tatsiana BLR 31p
- 14 田畑 真紀 JPCA タイ 80p



おそろいで走りたなら

5着からオーダー

40営業日*で完成

アイテム多彩・デザイン自由

お近くのショップで
SYSTEM
システムユー

個性を表現したいなら

1着からオーダー

30営業日*で完成

選べるカラー・柄

ホームページで
SYSTEM
システムアイ

www.pearlizumi.co.jp/sysi

*上記はデザイン確認とサイズ・枚数が確定し、最終的に発注をいただいたからの製作期間となります。

オリジナルウェアづくりの流れがわかる『オーダーガイドブック』をご希望の方はホームページまで。

〒130-0026 東京都墨田区両国2-4-2 株式会社パールイズミ

仲間と、ウェアをつくろう! www.pearlizumi.co.jp



'10-'11UCIトラック・ワールドカップ・クラシックス#3



浅井がケイリン銅メダル!

ケイリン銅メダルの浅井(右)



ワールドカップ第3戦が中国の北京で1月21日から23日の日程で行われた。今の北京は非常に寒く最低気温が-10℃位で最高気温でも0℃という寒さで、室内との温度差が大きく体調管理がむずかしい。バンクの中は暖房がきいて20℃位に設定されていて快適に練習もレースもできた。

成績はチームスプリントが雨谷一樹、渡邊一成、新田祐大で予選を45秒003で4位となり、3位の中国と3~4位決定戦に臨んだが中国に敗れて4位だった。

ケイリンは渡邊一成と浅井康太が出走。渡邊は予選で敗れ、敗者復活戦でも敗れて決勝進出はならなかったが、浅井は予選1位、準決勝2位で決勝に進み決勝戦でも3位に入り、日本にとってワールドカップでは久しぶりとなるメダルを獲得した。やはりメダルを取ると、チーム全体に活気が出て明るい雰囲気になる。

スプリントは北津留翼が出走。予選

は10秒368で走り第6位で通過。1/8決勝を難なく勝ったが1/4決勝で敗れて、5~8位決定戦に回り結果は第7位だった。北津留は第1戦、第2戦とも4位だったが、今回は本来の調子ではなかったように感じた。

オムニアムには日大の窪木が出走。予選は難なく通過したがトータルでは19位で世界の壁は厚いという印象だったが本人にとってはいい経験だったろう。

女子は前田がスプリントとケイリンに出走したが、力の差が歴然として、日本では第1人者だが世界ではまだまだ通用しないという印象だ。

オムニアムには石井が出走。予選は通過したがトータルでは23位で外国勢とはまだまだ力の差があるという印象だった。日本の女子選手をどう強化するかが今後の課題だろう。

第3戦を終えて、男子の短距離チームはオリンピックに向けてポイントを加算しており今後も少しでも上を目指して強化し、オリンピックに出場するだけでなくメダルを獲得するのを目標に、選手、スタッフ一丸となって頑張らなければならないと思います。

(監督 阿部 道)

【競技結果】

'10-'11UCIトラックワールドカップクラシックス第3戦 (2011/1/21-23 中国・北京)

男子スプリント

- 1 SIREAU Kevin FRA
- 2 DOEHRER Sebastian GER
- 3 ZHANG Miao CHN
- 7 北津留 翼 JPCA JPCU 福岡

男子1kmタイムトライアル

- 1 PERVIS François FRA 1:01.197
- 2 HAAK Hugo NED 1:03.010
- 3 VAN VELTHOOVEN Simon NZL 1:03.103
- 11 新田 祐大 JPCA JPCU 福島 1:03.846

男子ケイリン

- 1 VAN VELTHOOVEN Simon NZL
- 2 SUNDERLAND Scott AUS
- 3 浅井 康太 CCT JPCU 三重
- 19 渡邊 一成 JPCA JPCU 福島

男子ポイントレース (30km)

- 1 ERSHOV Artur LOK 35p
- 2 MARKOV Alexei RUS 30p
- 3 IMHOF Claudio SUI 23p
- 15 窪木 一茂 福島 日本大学 2p

男子ホムアム

- 1 HARRISON Samuel GBR 28
- 2 BELL Zachary CAN 30
- 3 KLUGE Roger GER 32
- 19 窪木 一茂 福島 日本大学 105

男子チームスプリント

- 1 フランス 44.150
- 2 ロシア 44.664
- 3 中国 44.716
- 4 日本 雨谷・新田・渡邊 45.042

女子スプリント

- 1 SHULIKA Lyubov UKR
- 2 KRUPCEKAITE Simona LTU
- 3 JUNHONG Lin CHN
- 27 前田佳代乃 鹿児島 鹿屋体育大 予選敗退

女子ケイリン

- 1 SANCHEZ Clara FRA
- 2 SHULIKA Lyubov UKR
- 3 JAMES Rebecca Angharad GBR
- 19 前田佳代乃 鹿児島 鹿屋体育大学

女子ホムアム

- 1 WHITTEN Tara CAN 24
- 2 WILD Kirsten NED 37
- 3 JEULAND Pascale FRA 38
- 23 石井 寛子 茨城 スーパーKアスリートクラブ 116

日本航空
Dream Skyward. JAL

世界の空でお逢いしましょう。

www.jal.co.jp

【アンチ・ドーピング諸規則に関する改訂点のお知らせ】

(財)日本自転車競技連盟 アンチドーピング委員会作業部会 2011.1.17

1. 2011年禁止表国際基準の改訂点

<参考> 2011年禁止表国際基準より

- S0. 未承認物質(項目追加)
禁止表の以下のどのセクションにも対応せず、人体への治療目的使用が現在どの政府保健医療当局でも承認されていない薬物(すなわち、前臨床段階、臨床開発中、あるいは臨床開発が中止になった薬物)

常に禁止される物質と方法(競技会(時)及び競技会外)

- S2. ペプチドホルモン、成長因子及び関連物質(下線部追加、変更)

- S2.1 赤血球新生刺激物質[(エリスロポエチン(EPO)、ダルベポエチン(d EPO)、低酸素誘導因子(HIF)安定薬、メトキシポリエチレングリコール-エポエチンベータ(CERA)、ペジネサタイド(ヘマタイト)等]

- S2.6 (項目削除)
血小板由来製剤(血小板濃縮血漿、血液スピニング等)の筋肉内投与。他の経路によって投与される場合は、治療目的使用に係る除外措置に関する国際基準に従って使用の申告が必要となる。

- S3. ベータ2作用薬(文言追加(下線部)および申告の取り扱い変更)
すべてのベータ2作用薬は、両光学異性体を含めて禁止される。

但し、サルブタモール(24時間で最大1600μg)およびサルメテロールが、製造販売会社によって推奨される治療法に従って吸入される場合は除く。

尿中のサルブタモールが1000ng/mlを越える場合は、治療を意図した使用とはみなされず、管理された薬物動態研究を通してその異常値が治療量のサルブタモール(24時間で最大1600μg)の吸入使用の結果であることを立証しないかぎり、違反が疑われる分析として扱われることになる。→サルブタモール、サルメテロール吸入使用の場合はドーピング検査時及びADAMSによる申告は必要なし。(取り扱い変更)

- S5. 利尿薬と他の隠蔽薬(下線部(禁止物質追加(デスマプレシン)、文言変更))

隠蔽薬は禁止される。隠蔽薬には下記のものが含まれる。

利尿薬

デスマプレシン

血漿増量物質[グリセロール、および以下の物質(アルブミン、デキストラン、ヒドロキシエチルデンプン、マンニトール)の静脈内投与等]

プロベネシド及び類似の生物学的効果を有するもの

利尿薬もしくは隠蔽薬と併用して、閾値水準が設定されている物質(サルブタモール、モルヒネ、カチン、エフェドリン、メチルエフェドリン、ブソイドエフェドリン)を如何なる用量でも使用する場合は、利尿

薬もしくは隠蔽薬に加え、閾値水準が設定されている物質についても治療目的使用に係る除外措置が競技会および競技会外の状況に応じて必要である。

禁止方法

- M2. 化学的・物理学的操作(項目追加)
M2.3 血液を採取し、操作を加え、循環系へ再注入する一連の処置は禁止される。
M3. 遺伝子ドーピング(文言変更)
M3.1 核酸または核酸配列の移入
M3.2 正常なあるいは遺伝子を修飾した細胞の使用
M3.3 遺伝子発現を変化させることによって競技能力に影響することが知られている機能に直接的あるいは間接的に作用する物質の使用。
例として、ペルオキシソーム増殖因子活性化受容体デルタ(PPARδ)作働薬(GW1516等)およびPPARδ-AMP活性化プロテインキナーゼ(AMPK)系作働薬(AICAR等)は禁止される。

競技会(時)に禁止される物質と方法

- S6. 興奮薬
メチルヘキサミンが特定物質として禁止表に追加。
S8. カンナビノイド(文言下線部追加)
天然(大麻、ハンシュ、マリファナ等)あるいは合成デルタ9-テトラヒドロカンナビノール(THC)およびカンナビノイド様物質スパイス[(JWH018、JWH073を含む)、HU-210等]は禁止される。
S9. 糖質コルチコイド(文言削除:申告の必要がなくなったため)
糖質コルチコイドの経口使用、静脈内投与、筋肉内使用または経直腸使用はすべて禁止される。
※関節内、関節周囲、腱周囲、硬膜外、皮内および吸入使用⇒申告の必要なし。

特定競技において禁止される物質

- P1. アルコール(対象競技の削除)
近代五種が対象競技から削除。
P2. ベータ遮断薬(対象競技追加と削除)
<追加>
スケルトン(国際ボブスレー連合(FIBT))
ダーツ(世界ダーツ連盟(WDF))
<削除>
体操(国際体操連盟(FIG))

※WADA code(2011年版)の詳細につきましては、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のウェブサイトから確認してください。

日本アンチ・ドーピング機構ホームページ
<http://www.anti-doping.or.jp/>

平成23、24年度役員改選に係る立候補者の受付について

平成23、24年度役員改選について、役員選任規程第2条第1項第3号の規定の役員の選任は下記のとおり立候補者を募りその中から評議員会において選任することとなりましたのでお知らせいたします。

記

平成23、24年度推薦理事立候補受付について（公示）

- 立候補受付期間：平成23年2月4日（金）から3月4日（金）まで
- 立候補受付場所：7ブロック地域事務所及び全国組織の加盟団体事務所（※各受付場所の詳細についてはJCF事務局までお問合せ下さい）
- 立候補の方法：下記の届出書に必要な事項を記載のうえ1.の期間内に2.の地域事務所等に提出する。
- 立候補の制限：平成23年4月1日現在70歳未満の者であること。
自転車競技の発展に情熱を持って活動できる者であること。
- 立候補の取り纏め：1.の締め切り後、地域事務所等は受付けた全ての立候補届出書を3月8日（火）までに日本自転車競技連盟宛 FAX 送信すると共に3月11日（金）までに日本自転車競技連盟宛郵送する。
- 立候補者の縦覧：日本自転車競技連盟は立候補届出書に基づき立候補者一覧表を作成し全評議員に3月14日（月・予定）送付する。
- 選挙の実施：立候補者が8名を超えた場合は3月22日（火）の評議員会において出席評議員による1名单記制の無記名投票で選挙を実施する。
- 公示の方法：機関紙シクリスムエコー（本号）及び日本自転車競技連盟HPに掲載する。

財団法人 日本自転車競技連盟

平成23・24年度理事立候補届出書

受付日 _____ 受付番号 _____
 受付取扱者名 _____ (地域別協議会名他) _____

私は財団法人日本自転車競技連盟の寄附行為を遵守することを誓いここに立候補致します。

フリガナ				年 齢	才	男・女
氏 名	印			生年月日	年	月 日
住 所	〒 _____					
電話番号			FAX 番号			
電子メール						
加盟団体名（役職）						
職業（又は勤務先）						
自転車競技界での 主な活動歴						
（記入例）	競技歴：10年（ロード、トラック）、主な成績 ○○年国体1000mTT ○ 審判歴：国内1級（ロード、トラック）1990年取得、国際ミッセル 1995年取得 指導歴：日体協（上級コーチ）1998年取得 自転車競技の役職歴：○○年○○国体の競技委員長 JCF、体協等の役職歴：○○年○○世界選手権監督					

“ジュニア競技者に関する指導講座”をジュニア強化育成部会から発信します。

映像と記録を利用したレース分析からトレーニングを考える

現在ではジュニア競技会において、ビデオ映像やパワー計を用いた情報から戦術分析を各国とも行っている。2010年ジュニアトラック世界選手権大会においても様々な国のスタッフがスタンド上段でビデオカメラを構え、ピットではクランクパワー計からデータを取り込んでいる姿が見られた。ロード競技においても、ネーションズカップに出場して来る選手のほとんどがパワー計を取り付けていた。パワー計は非常に高価なものであるだろうし、ジュニア選手が利用してもその内容を理解することに苦しむだろう。しかしジュニア期から数値やグラフの読み取り方を理解する機会を設けていくことにより、エリート選手になった時に更なる可能性を見つけたことができるのではないだろうか？ジュニア期に強い競技団体は、プレジュニア期に基礎体力を重視したトレーニングとタレント選抜を行い、ジュニア期に磨かれ、その後エリート世代になっても世界で活躍していることは周知の事実である。ジュニア期にとっては高価なものであっても柔軟に学習できる時期に内容を理解させ、その内容をトレーニングに応用させる道筋が必要である。ここではビデオカメラの映像と周回ごとのラップタイムからビデオ分析を試みた結果を報告する。

まず、競走系種目のビデオ映像から理解できることはレース中の位置取り、仕掛けるタイミング、自分の走りを客観的に観察することができる。自分ではどう走っているのか、指導者に言われたように走っているのにまた注意されたなど走行中の感覚と頭の中が一致しなければ、いつになっても競技パフォーマンスは向上しないだろう。タイムトライアル系種目のビデオ映像からは各国の選手のクランク回転数がわかる。回転数がわかれば、ギア比がわかる。日本ではギア比の制限があるので、記録からクランク回転数がわかってしまうので意味をなさないと思うかもしれない。さらにチームパシュートでの1周ごとのラップタイムとビデオ映像からの先頭交代のラップタイムを加えてみると、ペース配分と選手ごとの先頭走行距離がわかる。走行メンバーは全員ポディーナンバーを付けているのだから誰が先頭をどれだけ走ったのか、ペースを落としているのは誰なのか、ペースを落とす前に先頭交代ができているのかなどいろいろと読み取れる。これを日々のトレーニングに組み込むことで、今まで1周ごとのラップタイムの変化でペース配分を話し合っていたチームが先頭交代の位置を考えながら全員が全力を尽くせる距離とペースを作り上げることができるだろう。ビデオカメラで撮影して分析なんて面倒なことをしなくても、現場にストップウォッチ2個とパソコンがあれば日々のトレーニングには十分だろう。

図1にはジュニア世界選のチームパシュートに出場したチームのペース配分と先頭交代時間および速度変化を示す。

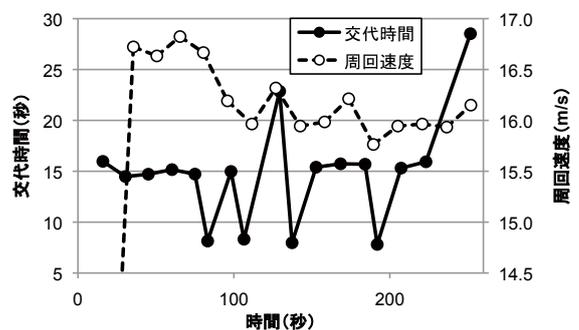


図1 2010ジュニア世界選TP中の交代時間と周回速度の関係

パワー計から見るジュニアトラック世界選手権大会

今回の世界選には日本から3選手が出場したが、すべて予選敗退した。200mTT中のピークパワーは1338W、1293Wであった。彼らのパワーは低いのだろうか？国内競技会と同じパワーが発揮できたのだろうか？同じパワーが発揮できたが、250mの走行技術が未熟であったために記録が伸びなかったのか？国内よりもパワーが低かったけど、250mトラックの特性を利用して好成績を収めることができたのだろうか？瞬時のパワーや速度を測ることは今までに見えてこなかったことが解り始める手がかりになるだろう。パワー計を用いることで、ジュニア期に獲得しなければならないトラック上でのパワー発揮の技術を教えることができれば、経験や勘といった時間のかかる作業よりも短時間で海外のトラックに合わせた強化育成につながると思う。

TTに出場した2名の選手の最大パワーはそれぞれ1225W、1471W、平均パワーは565W、651Wであった。最大および平均パワーが高かった選手に比して、パワーが低かった選手の記録は良かった。大きなパワーが発揮できれば、記録が良いわけではない。TTの場合、大きなパワーを発揮することと空気抵抗をいかに抑えるかが重要であることが解る結果であった。指導者は選手に距離が長くなるほど、空気抵抗を小さくした姿勢を取らせなければならないと思う。選手が大きなパワーを発揮でき、空気抵抗を最小に抑えることができる姿勢を見つけなければならない。パワーを発揮させる姿勢、空気抵抗を抑える姿勢、どこに落とし所を見つけるのか判断が難しいと思われるが、まずは安全に空気抵抗を最小にできる姿勢から始めてみてはどうだろうか？日本のほとんどの選手が高校生になってから競技を始めることを思えば、自転車に乗るための筋肉はこれから鍛え上げられるのだろう。そして乗車姿勢もここから作り上げられるのだろう。

オムニアムのポイントレースでのパワー発揮は平均 256W、600W を超える局面がレース中 30 回、800W は 14 回超えていた。これらのデータからトレーニングを考えてみると、約 20 分間平均 260W で走行できる能力が基礎になるだろう。またレース中のインターバルに耐えうる能力を鍛え上げるために、20 分間に 30 回の 600W 超え全力ペダリング、14 回の 800W 超え全力ペダリングが必要になる。その全力時間と休息时间、休息中のクランク回転数と負荷値、すべてをレースに見合わせて組み合わせた模擬レース走を今後のトレーニングの中に加えていかなければ世界と戦うことができないだろう。付け加えれば、最後のゴール付近では約 70km/h の速度で走行していたにもかかわらず得点に届かないことも事実である。全力と休息の時間だけであれば、ビデオ映像からでも調べることができるのだから、映像があれば簡単な模擬レース走はすぐにできる。少しずつではあるが、世界のレースの事実を知りそれに合わせたトレーニングを展開していかなければならないだろう。

現在では各国がビデオ映像から相手国のパワー出力を推定し合う時代である。ビデオ映像からパワーを推定することや、高価なパワー計の購入が困難だとしても、ジュニア指導者はビデオ映像を利用して選手と確認しながら、お互いに自転車競技を語り合う環境を作ってほしい。経験豊富な指導者はビデオ映像からの的確な指導を各選手に行ってほしい。自転車競技を経験したことがない指導者であっても、ラップタイムのみを選手に提示するのではなく、そのタイムの中にあるものを選び一緒に映像から考えてみるとお互いに次のトレーニングがみえてくるのではないだろうか。

第 1 回トレーニングキャンプからみるジュニア選手の基礎体力

前回、オリンピック出場選手の基礎体力レベルを示す表を掲載した。今回は第 1 回トレーニングキャンプ中に測定したジュニア強化指定選手の基礎体力を報告する(表)。この基礎体力レベルが現在のジュニア強化指定選手の現状である。高校の先生方はこの程度の体力レベルならばもしかすると、自分が勤務している高校に原石は眠っているのかもと思うだろう。この数値をすべて超えることができれば、指導者の情熱だけで国内チャンピオンは取れるのかもしれない。今後、この数値をすべて超えるようなジュニア選手がいれば、トレーニングキャンプにテスト参加してもらい、その可能性を最大限にアピールしていただきたい。現状から考えれば、ここで確実に足りないと思う部分は背筋力である。やはりジュニアトップ選手であれば、男子が体重の 3 倍、女子は 2.5 倍ほしいところだ。次に自転車エルゴメータ(パワーマックスⅧ)の結果を報告する(図 2、3)。5 段階の負荷値で 10 秒間全力ペダリングを行ったときの最高回転数と最高パワーからこの図 2 を作成した。また負荷値を体重 × 7.5% に設定して 30 秒間全力ペダリングを行わせたときのパワー変化を図 3 に示した。冬の時期に室内でしかトレーニングができない地域の指導者たちは知りたい内容だと思う。どの程度のパワー値があれば、どの程度の記録が出せるのだろうか? 少しずつではあるが、ジュニア強化育成部会でも冬季のトレーニング目標値として自転車エルゴメータの記録と実走行の記録との関係を明らかにしていきたいと思う。最後に図 2 の最大パワーは 9 ~ 12kp の間で発揮されている。実際に漕いでみるとわかるが、9kp は 47 × 14 のギアをかけた自転車での実走行時よりも強い負荷がかかっている感じがする。ジュニアの国内競技会では最大能力を競うのではなく、ある特定の負荷値での最大能力を競う競技である。ヒトにはそれぞれの特徴があり、脚を速く回せるけど大きな力が出せない人、速く回せないけど大きな力は発揮できる人が存在するだろう。ジュニア期の国内競技会では脚を速く回せなければ、勝つことができない。しかし海外に目を向ければ、多くの特徴をもった人間がそれぞれの特徴に合わせて活躍できる場所がある。ジュニア選手や指導者の方たちに間違っほしくないことがある。国内ジュニア大会において、勝てないからといって、その選手は才能がないわけではない。それぞれの選手の特徴に合わせて活躍できる場所が海外に、そしてエリート期には存在する。ジュニア期には目先の勝利ではなく、しっかりとした基礎的な能力を作ることに焦点を当ててもらいたい。次回は 2011 年トレーニングキャンプでのトレーニング内容と結果について報告します。(JCF コーチ 佐藤孝之)

種目	単位	男子	女子
立位体前屈	cm	26.1	30.5
背筋力	kg	192	125
	体重当たり	2.55	2.06
握力	kg	68	42
30 秒腹筋	回	46	33
回数腹筋	回	300	83
回数腕立伏せ	回	100	34

表 トレーニングキャンプでの体力測定での最高値

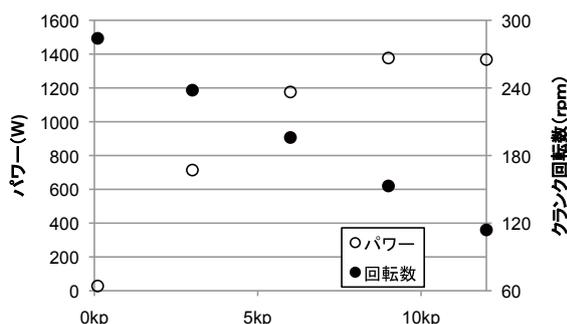


図 2 5 段階の負荷値での全力ペダリング中の最大パワーと回転数

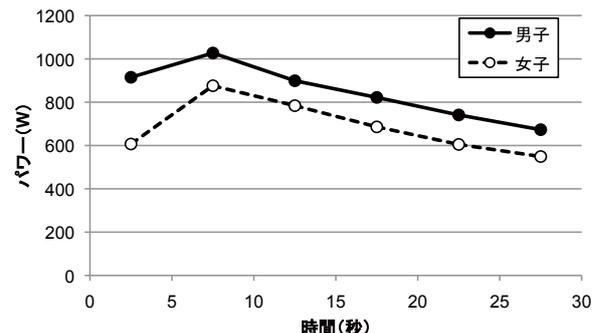


図 3 30 秒全力ペダリング中のパワー変化

2011年アジア選手権大会 日本代表選手団

大会名 第31回アジア自転車競技選手権大会/第18回アジア・ジュニア自転車競技選手権大会
 開催場所 タイ・ナコンラチャシマ
 大会期間 2011年2月9日～19日 <トラック>2月9日～14日 <ロード>2月16日～19日
 派遣期間 2011年2月5日～20日
 代表選手団
 監督 阿部 道 (JCF専任コーチ)
 コーチ 高橋 松吉 (JCF強化コーチ)・吉井 功治 (JCF強化コーチ)・村田 正洋 (JCF強化コーチ)
 班目真紀夫 (JCFジュニアスタッフ)
 メカニック 鬼原 積 (JCF強化スタッフ)・森 昭雄 (JCF強化スタッフ)・中村 仁 (JCF強化支援スタッフ)
 マッサージ 柳 浩史 (JCF強化スタッフ)・石田 宗男 (JCF強化スタッフ)・酒井 修 (JCF強化スタッフ)
 総務 林 富士夫 (JCF事務局)・山田 克彦 (JCF事務局)
 選手
 エリート 浅井 康太 (JPCA・JPCU三重)・北津留 翼 (JPCA・JPCU福岡)・雨谷 一樹 (JPCA・JPCU栃木)
 西谷 泰治 (愛知・愛三工業レーシングチーム)・盛 一大 (愛知・愛三工業レーシングチーム)
 窪木 一茂 (福島・日本大学)・佐々木 龍 (神奈川・早稲田大学)・元砂 勇雪 (奈良・鹿屋体育大学)
 福島 晋一 (JPCA・トレンガヌプロアジアサイクリングチーム)・宮澤 崇史 (長野・ファルネーゼビニ・ネーリソトーリ)
 新城 幸也 (JPCA・チームヨーロッパカー)・畑中 勇介 (東京・シマノレーシング)
 加瀬加奈子 (新潟・CLUB SPIRITS)・中川 諒子 (新潟・CLUB SPIRITS)・上野みなみ (青森・鹿屋体育大学)
 萩原麻由子 (大阪・サイクルベースあさひレーシング)・明珍 裕子 (岐阜・朝日大学)
 ジュニア 黒瀬 耕平 (岡山・岡山工業高校)・田中 諒士 (静岡・伊豆総合高校)・橋本 英也 (岐阜・岐南工業高校)
 新山 響平 (青森・八戸工業高校)・久保田元気 (福島・学法石川高校)・長尾 拳太 (岐阜・岐阜第一高校)
 西村 大輝 (東京・昭和第一学園高校)・内野 直也 (埼玉・湘南ベルマーレ)

'10～'11UCIトラックワールドカップ第3戦・4戦日本代表選手団

大会名 '10～'11UCIトラックワールドカップ第3戦
 開催場所 中華人民共和国・北京
 大会期間 2011年1月21日～23日
 派遣期間 2011年1月18日～24日
 代表選手団
 監督 阿部 道 (JCF専任コーチ)
 コーチ 吉井 功治 (JCF強化コーチ)
 村田 正洋 (JCF強化コーチ)
 メカニック 鬼原 積 (JCF強化スタッフ)
 森 昭雄 (JCF強化スタッフ)
 マッサージ 柳 浩史 (JCF強化スタッフ)
 酒井 修 (JCF強化スタッフ)
 総務 山田 克彦 (JCF事務局)
 選手 渡邊 一成 (JPCA・JPCU福島)
 新田 祐大 (JPCA・JPCU福島)
 北津留 翼 (JPCA・JPCU福岡)
 浅井 康太 (JPCA・JPCU三重)*
 雨谷 一樹 (JPCA・JPCU栃木)
 窪木 一茂 (福島・日本大学)
 前田佳代乃 (鹿児島・鹿屋体育大学)
 石井 寛子 (茨城・スーパーKアスリートラボ)
 *印1名はC.C.TOKYOチームで出場

大会名 '10～'11UCIトラックワールドカップ第4戦
 開催場所 イギリス・マンチェスター
 大会期間 2011年2月18日～20日
 派遣期間 2011年2月16日～22日
 代表選手団
 監督 阿部 道 (JCF専任コーチ)
 コーチ 吉井 功治 (JCF強化コーチ)
 村田 正洋 (JCF強化コーチ)
 メカニック 鬼原 積 (JCF強化スタッフ)
 森 昭雄 (JCF強化スタッフ)
 マッサージ 柳 浩史 (JCF強化スタッフ)
 酒井 修 (JCF強化スタッフ)
 総務 山田 克彦 (JCF事務局)
 選手 成田 和也 (JPCA・JPCU福島)*
 渡邊 一成 (JPCA・JPCU福島)
 新田 祐大 (JPCA・JPCU福島)
 北津留 翼 (JPCA・JPCU福岡)
 浅井 康太 (JPCA・JPCU三重)*
 柴崎 淳 (JPCA・JPCU三重)*
 雨谷 一樹 (JPCA・JPCU栃木)
 盛 一大 (愛知・愛三工業レーシングチーム)
 加瀬加奈子 (新潟・CLUB SPIRITS)
 中川 諒子 (新潟・CLUB SPIRITS)
 *印3名はC.C.TOKYOチームで出場

2011年シクロクロス世界選手権大会 日本代表選手団

大会名 2011年シクロクロス世界選手権大会
 開催場所 ドイツ連邦共和国 ザンクト・ヴェンデル (St.Wendel)
 大会期間 2011年1月29日～30日
 派遣期間 2011年1月25日～2月1日
 代表選手団
 監督 澤田 雄一 (JCFシクロクロス強化スタッフ)
 総務 竹之内脩兵 (JCFシクロクロス強化支援スタッフ)
 メカニック 武田 稔 (JCFシクロクロス強化支援スタッフ)・石垣 鉄也 (JCFシクロクロス強化支援スタッフ)
 選手
 男子 辻浦 圭一 (奈良・チームブリヂストン・アンカー)・丸山 厚 (長野・MASSA-FOCUS-SUPER B)
 女子 沢田 時 (滋賀・ENDLESS/Pro Ride)
 女子 豊岡 英子 (大阪・パナソニックレディース)

国内自転車競技場の紹介 (その11)

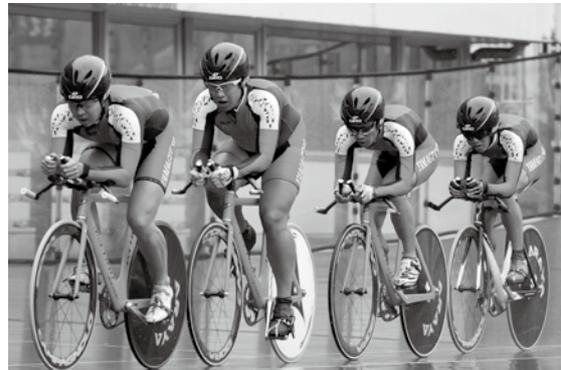
競技場名：紫波自転車競技場
 住所：岩手県紫波郡紫波町北日詰牡丹野 92-2
 電話：0196-76-3626
 周長：333.333 m
 幅員：10m～11m
 路面傾斜：(最大) 34° 13' 51"
 ホームページ：
<http://www.48kanko.jp/shisetsu.php?id=28&s=0>



加盟団体だより (10)

山口県自転車競技連盟

加盟団体名：山口県自転車競技連盟
 連盟事務局：山口県山口市嘉川 4188 番地 棟久 明博 方
 TEL / FAX: 083-989-2773
 E-mail: yamaguchi98_cf@yahoo.co.jp
 登録選手数：男子 68名、女子 1名
 審判員数：男子 76名、女子 7名
 県主催大会：2月 きらら浜サイクルミーティング
 4月 山口県トラック記録会
 5月 山口県内選手権大会(トラック・ロード)
 7月 山口県トラック記録会兼国体選手選考会
 8月 きらら浜サイクルミーティング(ロード)
 11月 山口県体育大会自転車競技(トラック)
 12月 きらら浜サイクルミーティング(ロード)



【山口県自転車競技連盟の活動】

山口県自転車競技連盟では、本年秋に開催されます「第66回国民体育大会(おいでませ!山口国体)」に向けて、選手の育成強化や競技役員養成に力を入れてまいりました。

平成16年9月に地元体育協会のお力添えをいただき「山口県ジュニアサイクルスポーツクラブ」を創立いたしました。今では創立当時は小学生だったジュニア選手達が、各地の大会で入賞・優勝をするまで育ってまいりました。連盟の中心的存在であった(故)久和正孝前理事長をはじめ、連盟スタッフ一同協力の元で成果を上げることが出来ました。

また、一昨年には全アマ・JOCカップ、昨年には全国都道府県対抗大会の開催を山口県で引き受けており、審判員の養成を進めております。地元での国民体育大会開催に向けて、事務局・スタッフ一丸となって頑張っています。

これからも、自転車競技人口の拡大を目的とした普及大会等を主催し、山口県から世界へ羽ばたける選手を輩出できる環境整備を進めていきます。

最後に、(財)日本自転車競技連盟スタッフをはじめ、全国の皆様方のご協力のもと「おいでませ!山口国体」を成功させたいという思いでいっぱい입니다。(会長 大和孝義)

夢への補助輪。 RING!RING!プロジェクト
 競輪の補助事業

● 訂正とお詫び

エコーNo.172 P.6において誤りがありました。下記の通り訂正し、お詫びいたします。

ロンドンオリンピック参加資格取得について

「ロードレース」＜マドスタート＞ □ 女子

誤 ※ 2011 最終ワールド個人ランキング 100 位までに競技者がいる場合 1 枠付与

正 ※ 2012 年 5 月 31 日付ワールド個人ランキング 100 位までに競技者がいる場合 1 枠付与

● 加盟団体事務局住所変更のお知らせ

一般社団法人
全日本実業団自転車競技連盟
〒107-0052
東京都港区赤坂 1-9-15
日本自転車会館 2 号館 807
TEL & FAX: 03-6277-8781
<http://www.jbcf.jp/>

● ロードレースにおける無線機の使用禁止について

2010 年からレース中の競技者による無線機の使用が段階的に禁止されておりますが、2011 年からは全ての集団スタートのロードレースで使用が禁止になりました。詳しくは、UCI 競技規則 PART 2 ROAD RACES 条項 2.2.024 をご覧ください。

● 学生神宮外苑クリテ 2 月 20 日 (日) 開催!

日本学生自転車競技連盟が主催する「第五回明治神宮外苑大学クリテリウム」が東京都心部で 2 月 20 日 (日) に開催されます。明治神宮外苑 1.5km の周回コースで、スタート・フィニッシュは聖徳記念絵画館前。海外から韓国とオランダチームも参加。開会式は朝 10 時の予定。最寄駅は JR 中央・総武線「信濃町駅」。詳しくは、<http://www.remus.dti.ne.jp/~jicf/>



日本新記録

■ スタンディングスタート・3km

女子シニア 3 分 47 秒 132 田畑 真紀 (JPCA・SHI) 2010/12/18 コロンビア・カリ

連盟の動き (12 月下旬～1 月下旬)

12 月 20 日	平成 22 年度第 5 回広報委員会・広報部会合同会議	於：東京・日本自転車会館 3 号館 3 階
1 月 5 日	第 3 回ジュニアトレーニングキャンプ	於：沖縄 (～1/10)
17 日	ロード強化合宿	於：鹿児島 (～1/23)
18 日	10-11 トラックワールドカップ第 2 戦代表選手団出発	於：中国・北京 帰国→1/24
25 日	2011 年シクロクロス世界選手権大会代表選手団出発	於：ドイツ・ザンクトヴェンデル 帰国→2/1
27 日	平成 22 年度第 5 回強化委員会	於：東京・日本自転車会館 3 号館 4 階

< JCF オフィシャル・スポンサー >

PEARLIZUMI

ANCHOR

AEON



伊藤超短波

< JCF オフィシャル・サプライヤー >

JAL

Vittoria
the choiceCYCLOCHANNEL
シクロチャンネル cycloch.net

シクリスムエコー No.177 2011 年 2 月号

発行/財団法人日本自転車競技連盟

発行人/岩楯昭一

編集人/井関康正

編集事務局/財団法人日本自転車競技連盟事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-3 日本自転車会館内

TEL03-3582-3713 FAX03-5561-0508 <http://www.jcf.or.jp/>